

## 【参考資料－２】

### 海域の動力船による利用状況（平成１７年度アンケート調査）の概要

#### （１）目的

知床半島先端部地区の海域におけるレクリエーション利用について、羅臼及び斜里町の動力船（遊漁船、観光船）関係者へのアンケート・聞き取り調査を行い、海域利用及び瀬渡しによるサケ・マス釣りの実態について把握を行ったものである。

#### （２）調査結果の概要

##### １）羅臼町の遊漁船

「羅臼遊魚釣り部会」の会員２５名に対しアンケート用紙（別添資料）を配布した。

回答は９件（３６％）であったが、会員２５名の内、「沖釣り」が１８名、「瀬渡し」が７名で、「沖釣り」の回答が３件（１７％）、「瀬渡し」の回答が６件（８６％）であった。

回答内容の集計は、別添資料－２：表－１、図－１のとおりであり、その概要は以下のとおりである。

#### ア 瀬渡し遊漁船（６件）について

##### ① 営業歴

８年以上の営業歴の者が４件（６７％）であった。

##### ② 所有船

各１隻の所有で、定員は７～１２人であった。

##### ③ 瀬渡し場所

瀬渡しによるサケマス釣りの利用場所は次のとおりであった。

モイレウシ：６件（１００％）、ペキン浜：４件（６７％）

クズレ浜：３件（５０％）、二本滝：２件（３３％）

なお、１６年度の瀬渡し人数に関する参考回答（１件）があった。

モイレウシ：１３７人、ペキン浜：７９人

##### ④ 利用時間

全回答「半日程度」であった。

なお、ペキン浜での泊り利用の回答が２件あった。

##### ⑤ マナーの周知

自然保護に関するもの、及び、釣りに関するもの共に有り５件、無し１件であった。

また、その伝達方法は、口頭が５件、印刷物が１件であった。

##### ⑥ 安全対策

装備及び保険共に全件対策有りであった。

なお、装備として、ライフジャケット５件、救命ボート１件であった。

##### ⑦ 利用者の属性

・利用者は道内居住者が８０％近くを占めていた。（道内者７７％、道外者２３％）

- また、道外者の居住地は、東京・名古屋・大阪・埼玉・群馬・茨城・栃木・長野であった。
- ・男性が80%近くを占めていた。(男性77%、女性23%)
  - ・年代はほぼ均等であった。(30歳未満32%、30～50歳36%、50歳以上32%)
  - ・個人・団体別は、ほぼ半々であった。(個人55%、団体45%)
  - ・約70%がリピーターであった。(67%)

## イ 沖釣り遊漁船（3件）について

### ① 営業歴

営業歴9年が2件、3年未満が1件であった。

### ② 所有船

各1隻の所有で、定員は10人、12人であった。

### ③ マナーの周知

自然保護に関するもの、有り1件、無し2件、釣りに関するもの有り3件であった。  
また、その伝達方法は、口頭が3件、印刷物が1件であった。

### ⑥ 安全対策

装備、及び、保険共に全件対策有りであった。

なお、装備として、ライフジャケット3件であった。

### ⑦ 利用者の属性

- ・利用者は道内居住者が95%を占めていた。(道内者95%、道外者5%)  
また、道外者の居住地は、東京・名古屋・埼玉であった。
- ・男性が90～95%を占めていた。(男性92%、女性8%)
- ・年代は50歳以上が80%を占めていた。(30～50歳20%、50歳以上80%)
- ・団体客が80～90%であった。(個人15%、団体85%)
- ・85%がリピーターであった。

## 2) 斜里町ウトロの遊漁船

斜里町ウトロ地域の遊漁船所有者13名に対しアンケート用紙（別添資料）を配布した。回答は13件（100%）であった。

回答内容の集計は、別添資料-2:表-2、図-2のとおりであり、その概要は以下のとおりである。

### ① 営業歴

10～20年の営業歴の者が5件（40%）で最も多かった。

### ② 所有船

各1隻の所有で、4～5トンが11件(84%)であった。

### ③ 専業・兼業別

専業が38%、兼業が62%であった。

なお、兼業種は、漁業、農業、民宿経営、建設業、サラリーマンであった。

### ④ マナーの周知

自然保護に関するもの、有り3件、無し8件、釣りに関するもの有り8件、無し4件であった。

また、その伝達方法は、口頭が6件、印刷物が3件であった。

⑤ 安全対策

装備、及び、保険共に全件対策有りであった。

なお、装備として、ライフジャケット11件、救命ボート1件であった。

⑥ 利用者の属性

- ・町内居住者が57%、道内居住者が43%で、道外者は(3%)で極めて少ない。
- ・男性が90～100%を占めていた。
- ・年代は30～50歳以上が95%を占め、30歳未満は極めて少ない。  
(30歳未満5%、30～50歳43%、50歳以上52%)
- ・個人客が70%であった。(団体30%)
- ・約70%がリピーターであった。(68%)

(その他)

文吉湾へのトレッカー及び調査の送迎が各1件あった。

### 3) 観光船事業者

ウトロ発着の観光船業者6社に対しアンケート用紙(別添資料)を配布した。

回答は5件(83%、但し内1件は意見のみ)であった。

回答内容の集計は、表-3、図-3のとおりであり、その概要は以下のとおりである。

① マナーの周知

自然保護に関するもの、有り2件、無し1件、無回答1件であった。

また、その伝達方法は、100%口頭(船内放送)であった。

② 安全対策

装備及び保険共に全件対策有りであった。

なお、装備として、ライフジャケットのみ3件、ライフジャケットと救命ボート1件であった。

③ 利用者の属性

- ・道内居住者が27%、道外者が67%であった。
- ・男女別は、ほぼ半々、年代もほぼ均等であった。  
(30歳未満30%、30～50歳37%、50歳以上33%)。
- ・個人客が約70%を占めた。(個人68%、団体32%)
- ・リピーターは12%であった。